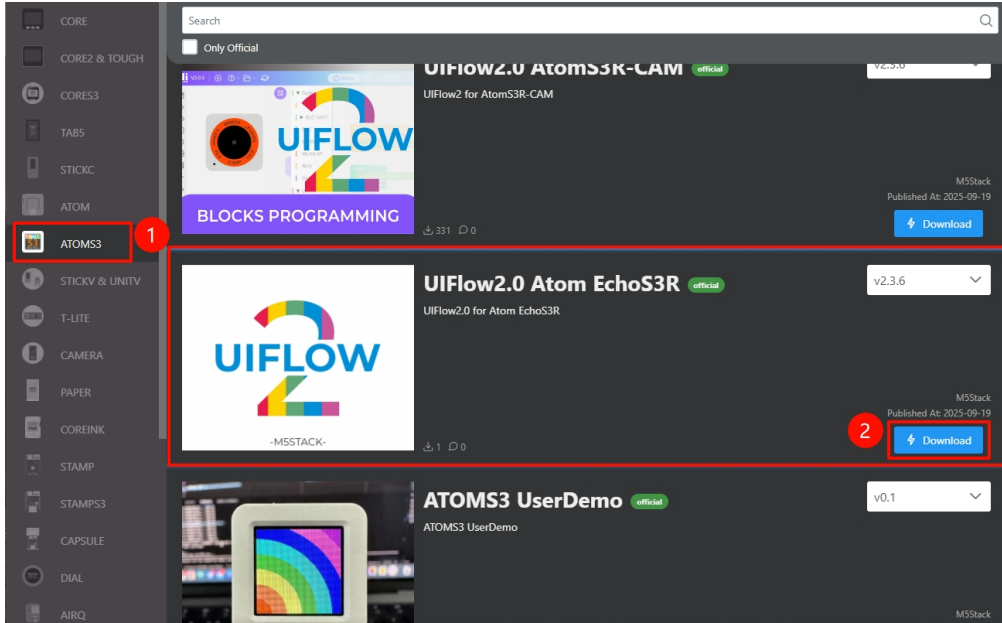


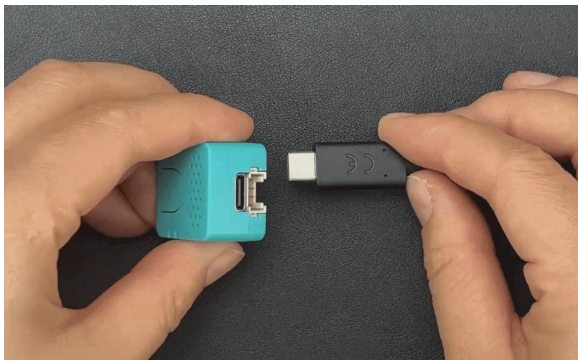
Atom VoiceS3R ファームウェア書き込み・プログラム配信

1. UiFlow2 ファームウェア書き込み

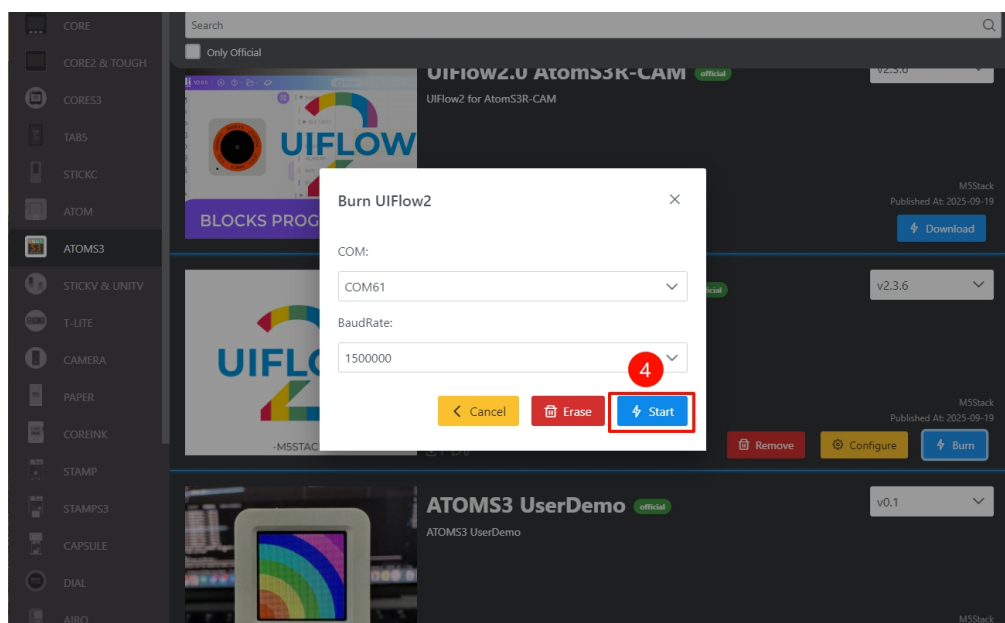
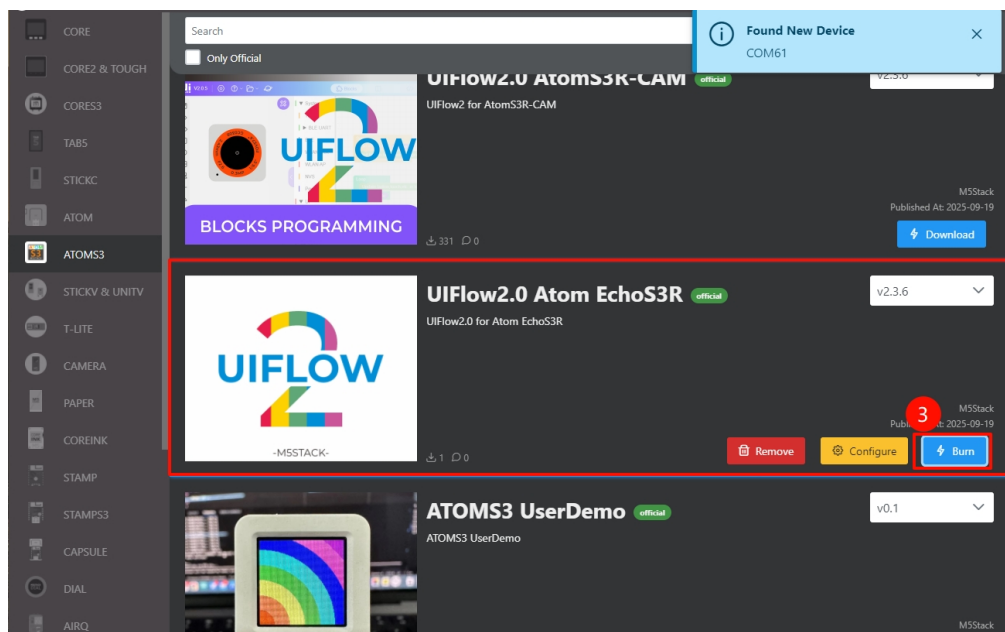
1. [UiFlow2 Web IDE チュートリアル](#)を参照して、UiFlow2 の基本的な使用手順を確認し、M5Burner ファームウェア書き込みツールをインストールします。
2. M5Burner で Atom VoiceS3R に対応するファームウェアをダウンロードします。



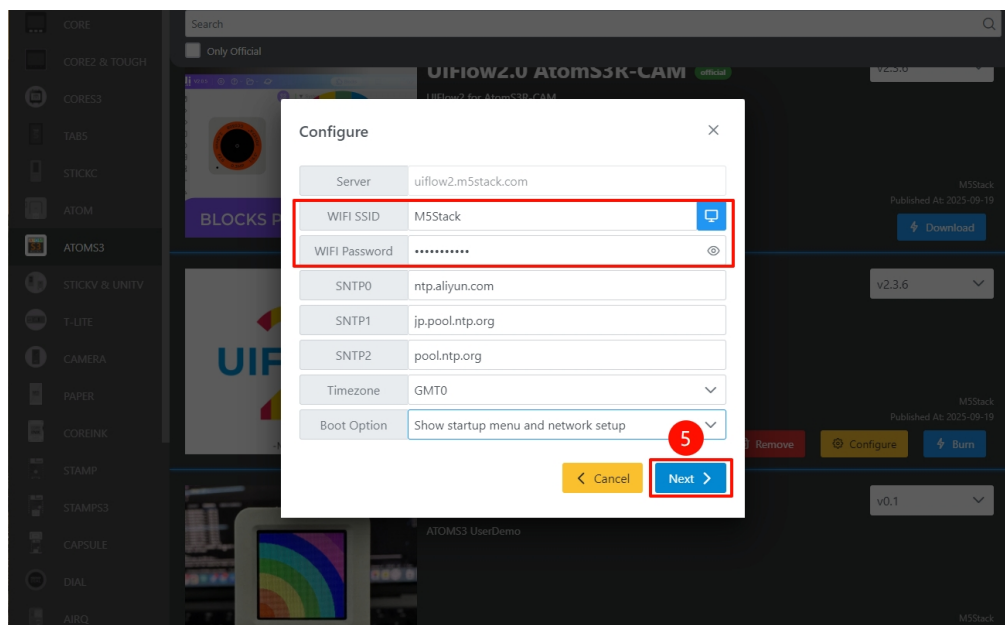
3. USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。リセットボタンを長押し（約 2 秒）し、内部の緑色 LED が点灯したら離します。これでデバイスはダウンロードモードに入り、書き込み待機状態になります。



4. M5Burner で対応するファームウェアの Burn ボタンをクリックし、対応するデバイスポートを選択して Start をクリックします。



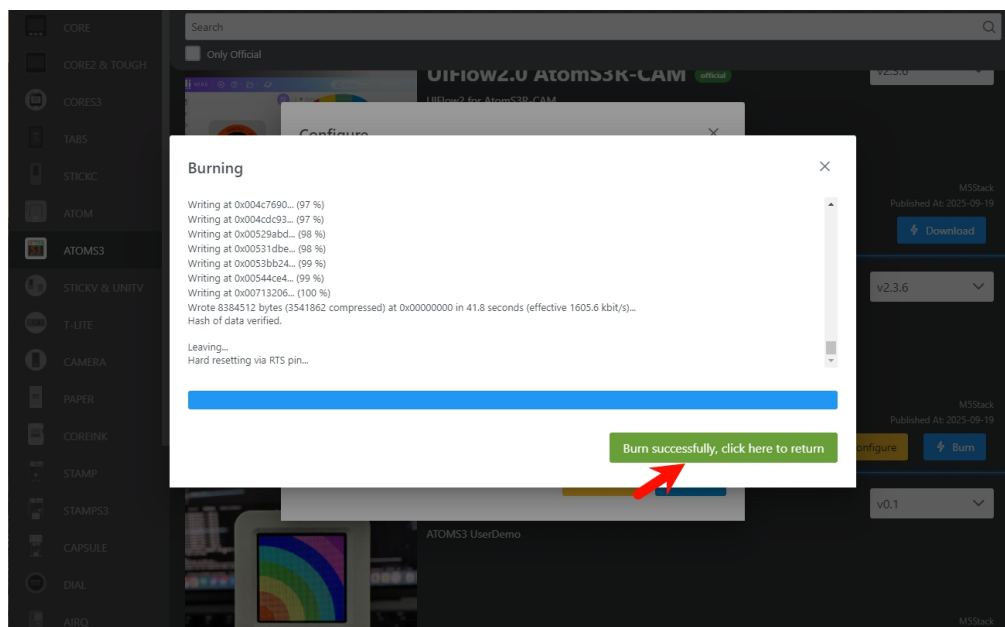
5. デバイスが接続する Wi-Fi 設定を入力します。Wi-Fi SSID、Wi-Fi Password、および追加または変更が必要なデバイス設定を入力したら、**Next** をクリックして書き込みを開始します。



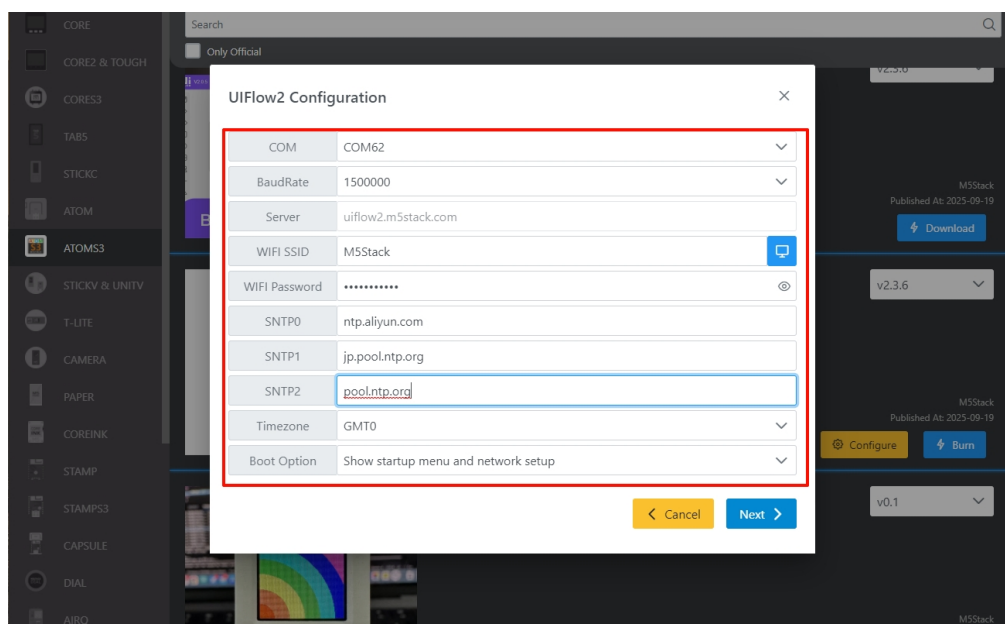
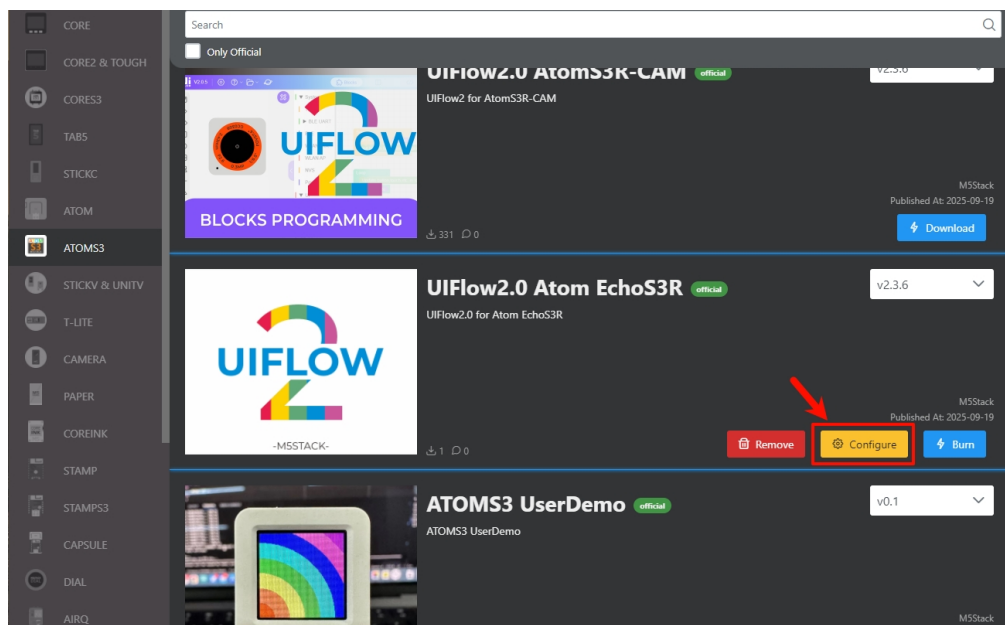
設定情報:

- COM: デバイスに対応するシリアルポートを選択
- BaudRate: シリアル通信のボーレート
- Server: デバイスが接続するサーバーアドレス
- WIFI SSID/WIFI Password: デバイスが接続する Wi-Fi 名とパスワード
- SNTP Server
 - SNTP0: Alibaba Cloud NTP サーバー (中国)
 - SNTP1: 日本 NTP サーバプール
 - SNTP2: グローバル公共 NTP サーバプール
- Timezone: タイムゾーン設定
- Boot Option: ファームウェア書き込み完了後のデバイス起動モードを設定
 - Run main.py directly: 書き込み完了後、main.py 内のプログラムを直接実行します。ネットワークには接続せず、UiFlow2 の起動画面も表示しません
 - Show startup menu and network setup: デバイスがネットワークに接続し、画面付きデバイスでは UiFlow2 の起動画面を表示します
 - Only network setup: デバイスはネットワーク設定のみを行い、UiFlow2 の起動画面は表示しません

6. Burn successfully, click here to return と表示されたら、書き込みは成功です。この時点でデバイスを再起動してください。



7. ファームウェア書き込み後にデバイス設定を変更する場合は、USB 接続を保持したままデバイスを再起動し、**Configure** をクリックして画面の指示に従って変更します。

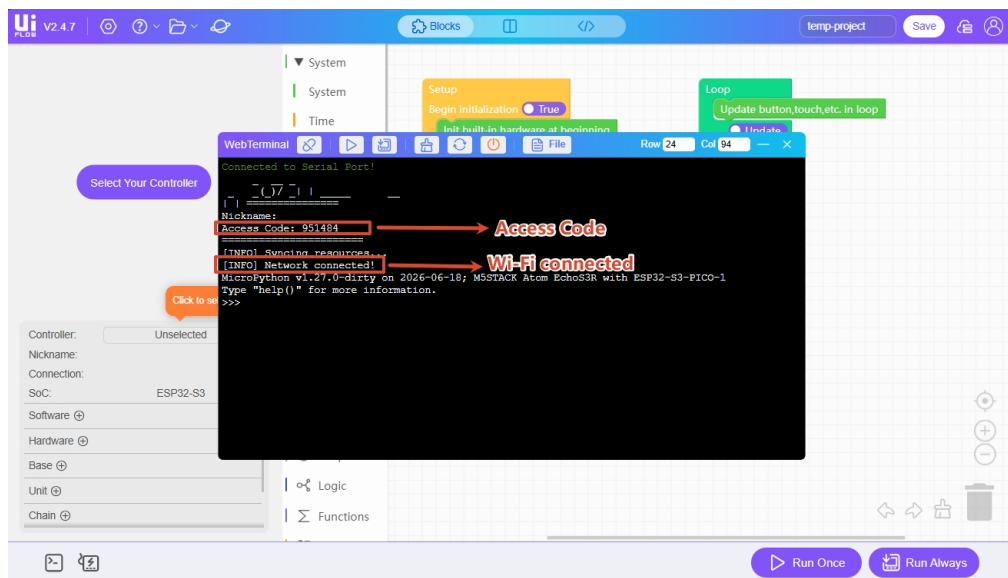
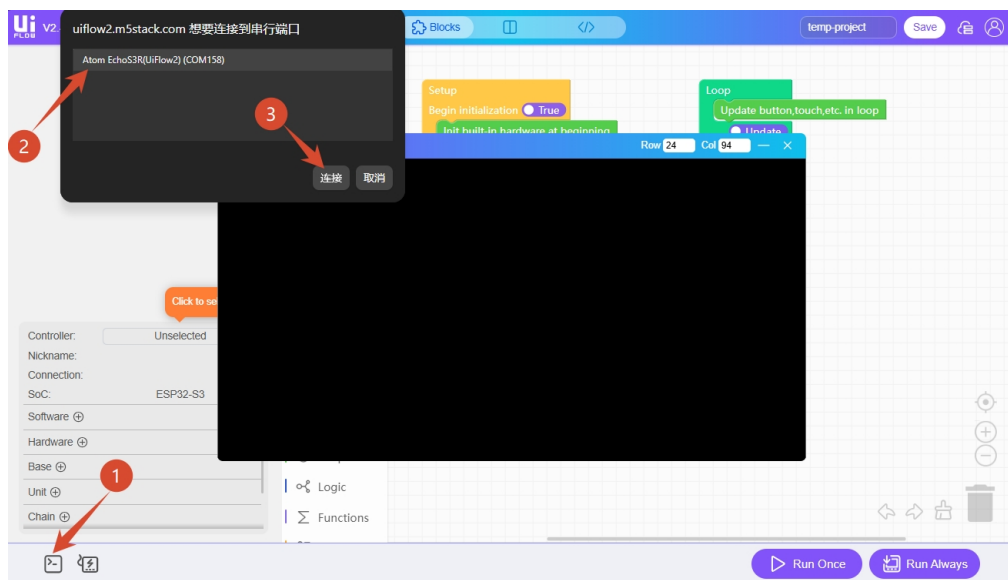


2. デバイス接続

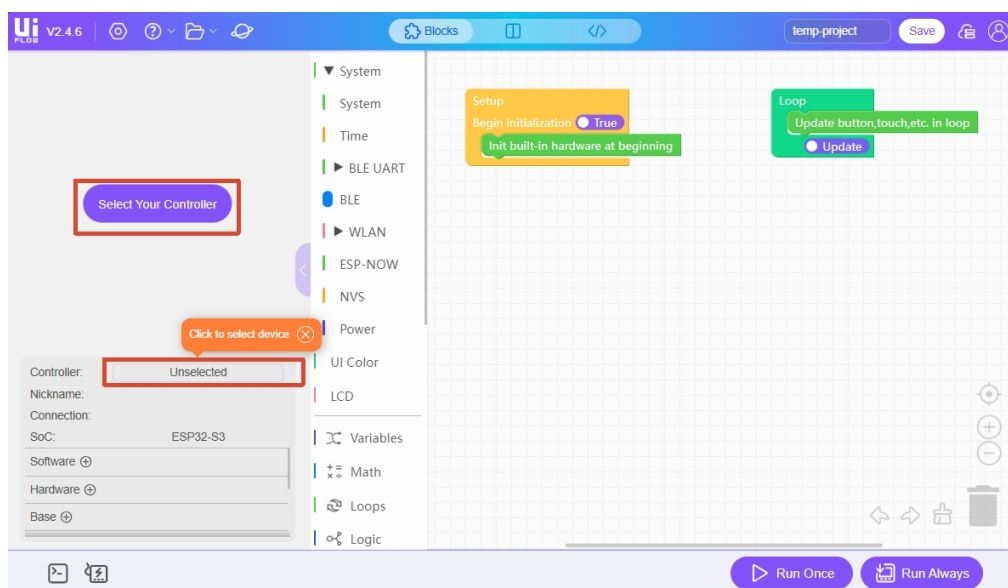
デバイスは **Access Code**（無線ネットワーク経由）または **USB**（PC への有線接続）で UiFlow2 に接続でき、プログラムの送信とデバッグを行えます。以下の手順を参照してください。

Access Code ワイヤレス接続

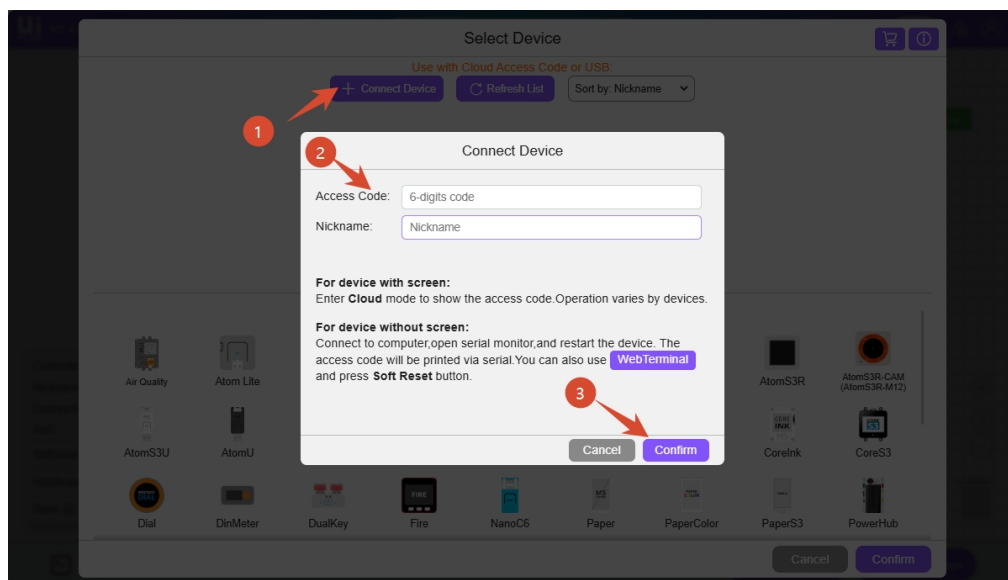
1. uiflow2.m5stack.com にアクセスして UiFlow2 Web IDE を開きます。
2. デバイスがネットワークに接続されていることを確認し、**Access Code** を取得します。画面左下の **WebTerminal** をクリックし、ダイアログで **Atom VoiceS3R** のシリアルポートを選択して **Connect** をクリックすると、シリアルモニタが開きます。現在生成されている有効な **Access Code** と Wi-Fi 接続状態を確認できます。（対応する情報が表示されない場合は、**Soft Reset** ボタンをクリックしてソフトリセットしてください）



3. ページ上の Select Your Controller (初回表示) または Controller ボタンをクリックし、Select Device ページに入ります。



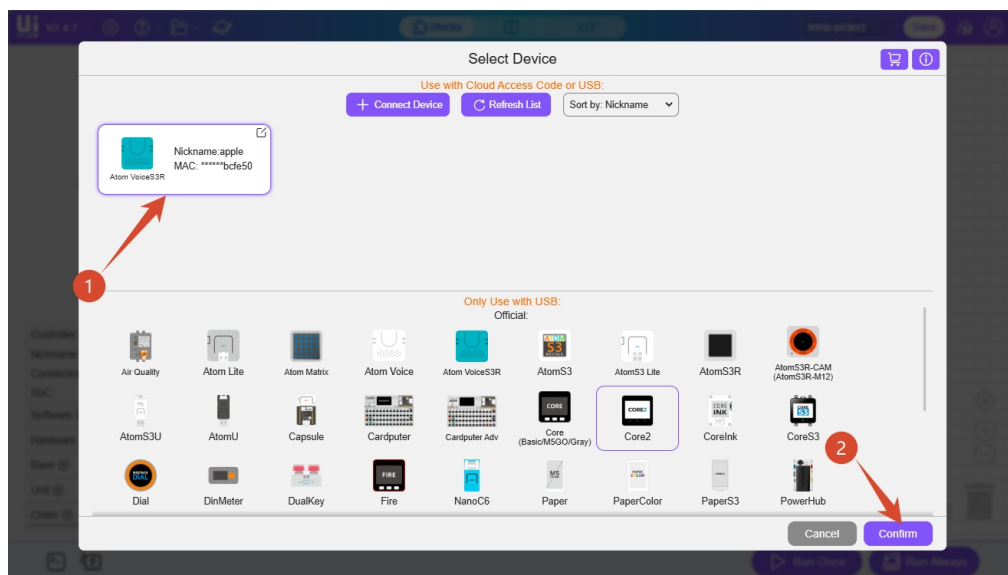
4. Connect Device をクリックし、アクセスコードと任意のデバイス名を入力して Confirm をクリックすると、Atom VoiceS3R を UiFlow2 に接続できます。



Access Code 説明

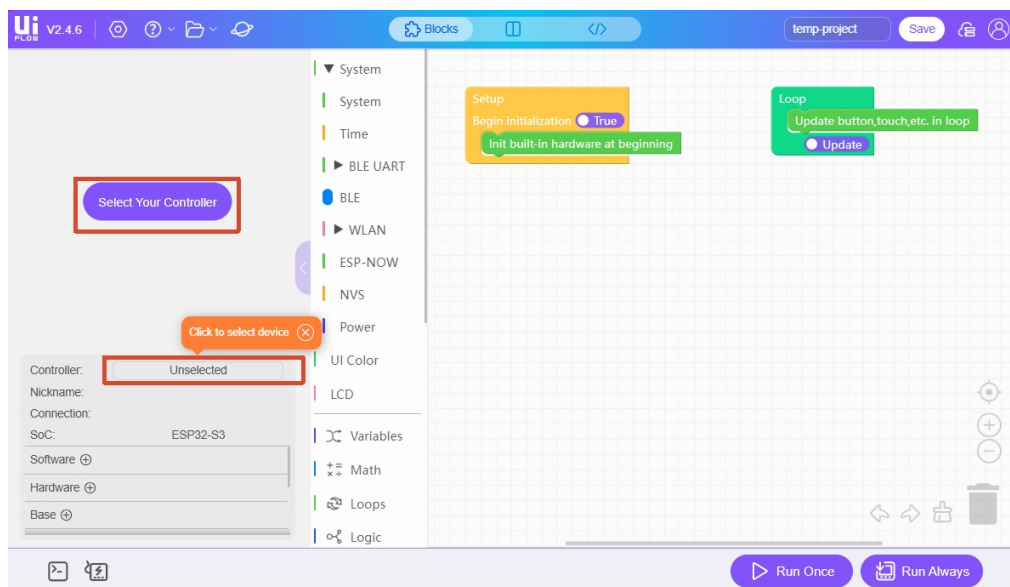
1. ブラウザの変更、プライベート / シークレットモードの使用、UiFlow Web サイトのキャッシュ削除を行うと、元のペアリング状態は無効になります。
2. タブを閉じる、ブラウザを再起動する、ログインまたはログアウトするだけでは、バインド済みのペアリング関係には影響しません。
3. デバイスが別のブラウザでバインドおよびペアリングされると、元のブラウザのペアリング関係は直ちに無効になります。

5. **Select Device** ページで接続済みの **Atom VoiceS3R** デバイスを選択し、**Confirm** をクリックすると、UiFlow2 のプログラミング画面に入ります。

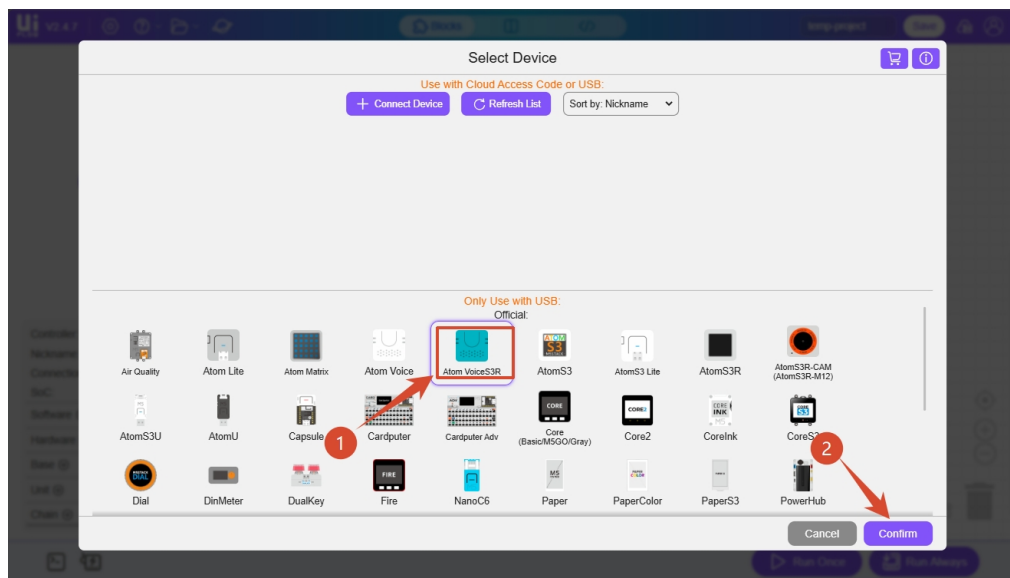


USB 有線接続

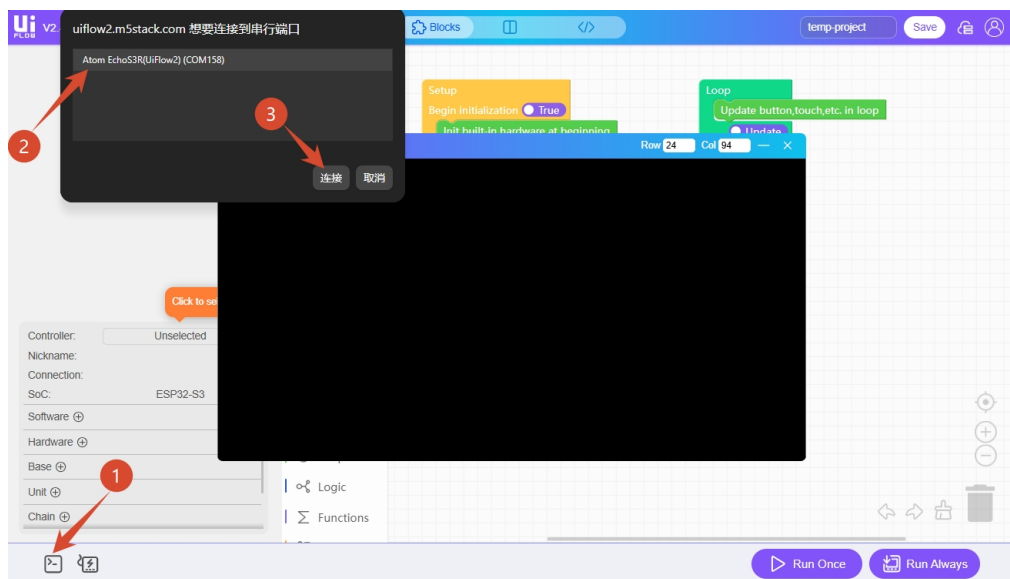
1. uiflow2.m5stack.com にアクセスして UiFlow2 Web IDE を開き、**Atom VoiceS3R** を USB ケーブルで PC に接続します。
2. ページ上の **Select Your Controller** (初回表示) または **Controller** ボタンをクリックし、**Select Device** ページに入ります。



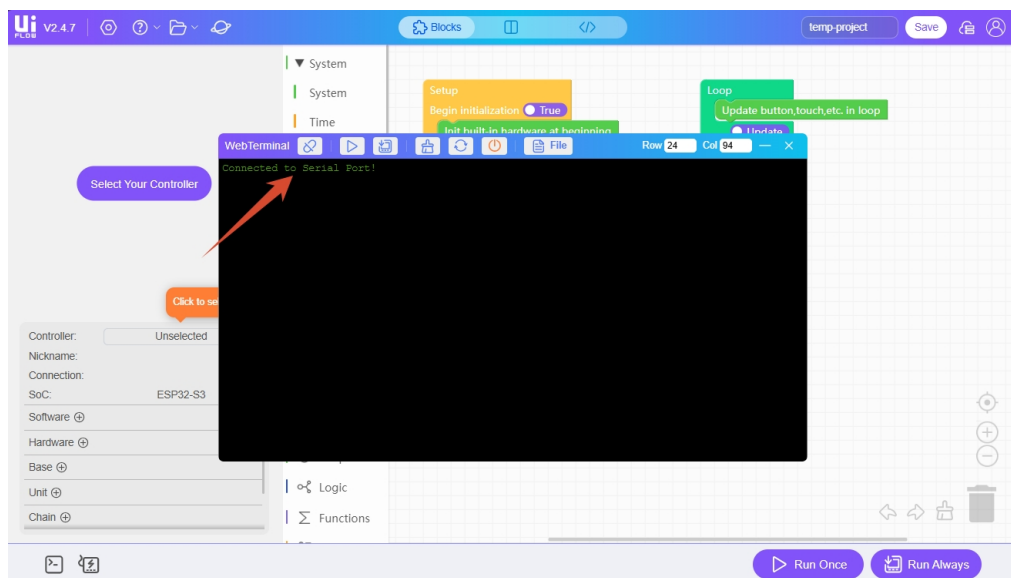
3. デバイス一覧で **Atom VoiceS3R** を選択し、**Confirm** をクリックします。



4. **WebTerminal** ボタンをクリックし、ダイアログで **Atom VoiceS3R** のシリアルポートを選択して **Connect** をクリックします。

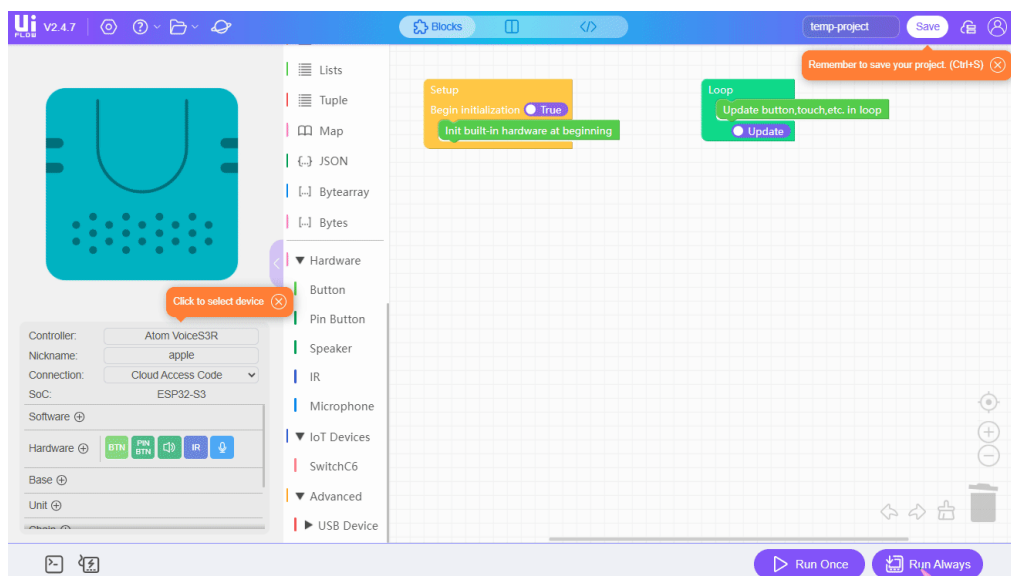


WebTerminal 画面に **Connected to Serial Port!** と表示されたら、USB 接続は成功です。



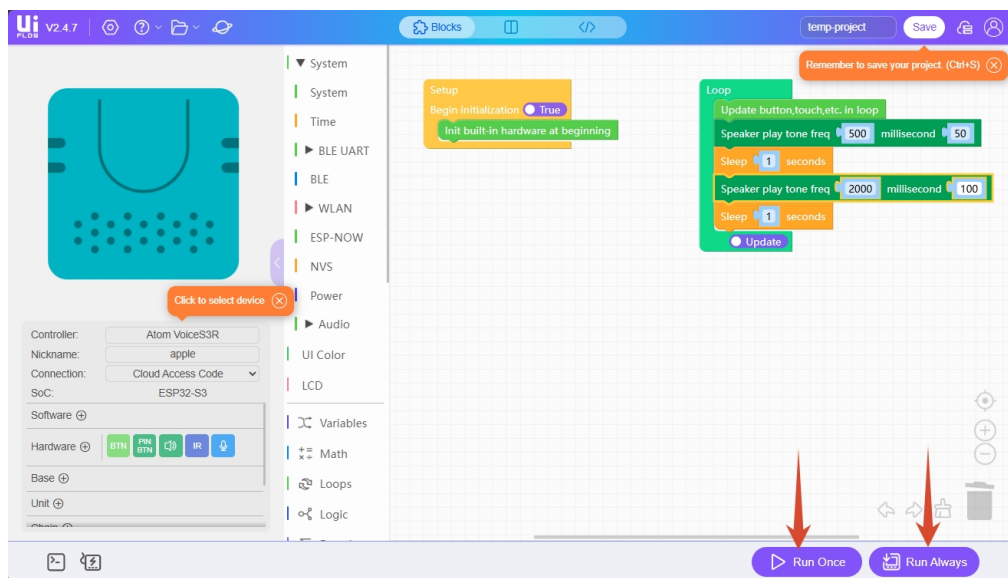
3. プログラムの実行とダウンロード

デバイスを UiFlow2 に接続したら、Blockly をドラッグしてプログラムを編集できます。

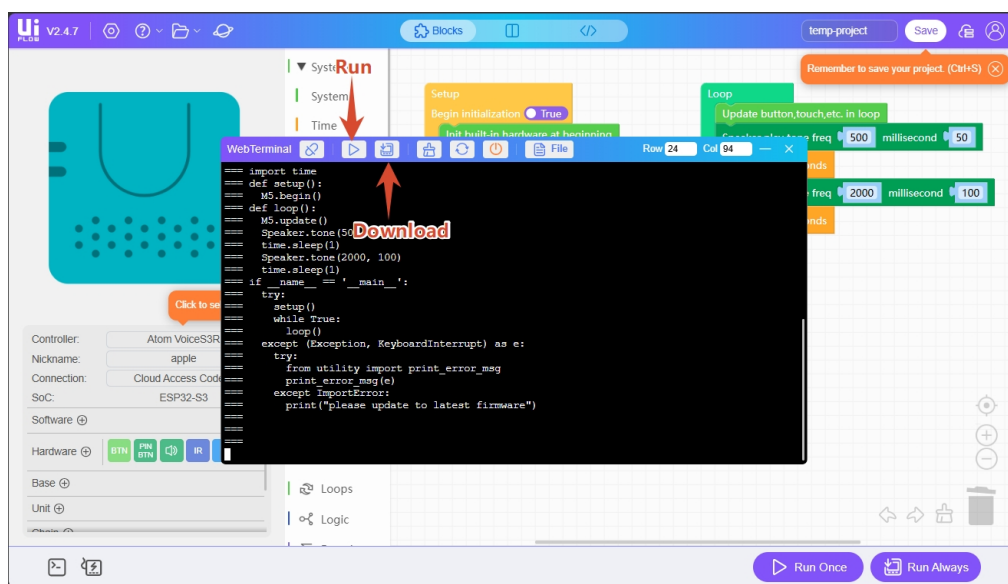


[Atom_echos3r_uiflow2_21_video.mp4](#)

プログラム編集後、画面右下の **Run Once** ボタンをクリックすると一度だけ実行してテストできます。**Run Always** をクリックすると、プログラムをデバイスにダウンロードできます。



WebTerminal ウィンドウでも、一度だけ実行したりプログラムをダウンロードしたりできます。



4. 関連リンク

- [UiFlow2 Blockly 紹介](#)
- [UiFlow2 ファームウェアソースコード](#)